

令和6年度 放課後等デイサービス ばくの樹 自己評価表

R7年1月30日実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			国の基準は満たしていますが、子どもの人数が多いと部屋が狭く感じます。音楽療法やバリアフリーボックス等の活動では、広い場所を借りて実施しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			国の基準を満たしていますが、その日の利用者さんの様子や実施するプログラムの内容により、国の基準では職員不足を感じる場合があります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			<input type="radio"/>	一般の一軒家を使用しており、段差があります。賃貸物件のため、大きな改修工事は難しいです。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			年に一度、各業務（係）の年間業務設定と振り返りを実施しています。 振り返りは3月、業務の年間計画は4月に行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者向けアンケートを実施後、パートを含めた会議の中で、その内容を確認しています。確認したご意見は検討し、改善に努めております。ただし内容（放課後学童クラブ等との交流）によっては様々なご意見がありますので実施を見送る場合もあります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			自己評価はHPにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	法人内で検討はしていますが、未実施のままとなっています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			今年度は以下の分野の研修を実施、又は参加しました。 主な研修 エビエンの使用法（動画視聴と実技研修）、5領域に基づく支援記録の書き方（講義）、発達障害の子どもたち 働くを学ぶ（動画視聴）、発達障害児支援における地域連携を考える（県発達障害総合支援センター）、送迎中、大地震が発生した場合の対応、感染症対策（動画視聴と実技研修）、虐待防止他
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者に対し、計画書を作成する際にアンケートを実施し、子どもや保護者のニーズを確認している。また、課題となる点は研修動画や様々な資料を基に客観的に分析し、当事業所で実施可能な支援を計画書に落とし込んでいます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			<input type="radio"/>	新小学1年生や低学年の方には市販されている簡易的なアセスメントツールを使用していますが、標準化されたものを使用するには専門の療法士を配置するなどの必要があるため検討中です。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			全職員で日中のプログラムを検討しています。 個別支援計画に基づいた内容で、計画しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			固定化することで、向上する機能もあるため、毎回実施する活動と季節に合った活動を組み合わせるようにしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			平日で取り組むプログラムと土曜日や長期休暇のプログラムは内容を変えています。

					<p>平日は短い時間で楽しめるレク活動や工作等を主に実施しています。</p> <p>土曜日は広い公園等や図書館などの公共の施設利用の機会を設けています。また地元の白岡祭りなどの行事にも参加しています。</p> <p>長期休暇時は午前、午後と分け、子どもが飽きないように別のプログラムを作成しています。</p>	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<p>工作や自分 BOX（中高生向けの機織りや編み物）など個別で行う活動、集団で行うポッチャ大会や音楽療法、バリアフリーボックスなど、様々な活動を実施しています。</p>
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<p>支援開始前は打ち合わせを実施しています。</p> <p>その日の送迎確認、プログラムの確認、前日や前々日の利用者の様子の共有をしています。</p>
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		<p>支援後に振り返りの時間は設けていませんが、緊急性の高いものについては、その日のうちに共有しています。そうでないものに関しては翌日や会議等で気付きを話し合っています。</p>
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			<p>支援記録は、支援終了後に記録を行っています。記録を基に経過表の作成を行い、次回の個別支援計画に反映させています。</p>
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			<p>半年に一度、モニタリング（経過表作成）を実施しています。必要に応じて、個別支援計画の目標の変更、取り下げ、具体的な支援の取り組みを変更しています。</p>
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			<p>毎日複数の組み合わせをしているわけではありませんが、様々なプログラムを行う中で、複数の組み合わせになるようにしています。</p>
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			<p>児童発達支援管理責任者が、会議に参加するようにしています。また、今年度は児童発達支援管理責任者が都合がつかない時に、管理者が担当者会議に出席しました。</p>
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			<p>2校の学校様からは、メールにて学校の情報をいただいております。（学級閉鎖の状況や下校時間の変更等）今年度は学校の下校時刻の確認は、保護者様と行ってくださいと、学校側から要望されることが多かったです。子どもの体調など健康面に関しては、常に情報交換させていただいております。</p>
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				<p>現段階では、医療的ケア児の受け入れを行っていません。</p>
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			<p>今年度は相談支援事業所様より事前に資料をいただき、児童発達支援事業所の様子を確認しました。</p>
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			<p>支援学校高等部卒業予定の方の進路先に、ばくの樹においての活動内容や利用年数、課題等を報告書として渡しております。（保護者様経由で、進路先に渡す、あるいは保護者様に了承を得て、送付する）</p>

の 連 携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		今年度も発達障害者センターの研修に参加しました。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	検討しましたが、アンケートでは交流を希望されない方もおり、今年度は未実施です。 放課後等デイサービスげんき広場様と災害協定を結んだ関係で短い時間でしたが、げんき広場のお子様と交流する機会がありました。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○	今年度は自立支援協議会主催の災害時研修に声を掛けていただきましたが、出席できませんでした。研修資料はいただき、この地域の災害に関する情報を得ています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳、送迎、面談等で保護者様と子どもの様子を伝えあう機会を設けております。 必要があれば、電話やメール、ラインでも受け付けております。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	未実施となっています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っています。 不明な点がありましたら、ご連絡ください。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳や送迎時、また面談にて行っています。電話でも受け付けております。 お気軽にご相談ください。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度は、ばくの実と合同でばくの会の10周年事業を実施させていただきました。日程の関係で白岡市内の小学校の運動会と重なり、この点は申し訳ありませんでした。 施設見学会は2回実施し、そのうち1回は、ばくの樹の卒業生の方が通所されている事業所を、保護者の皆様と見学させていただきました。 また、クリスマス会をばくの会正会員の保護者様と楽しみました。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付の対応方法は契約時に重要事項説明書にて、説明しております。 何かありましたら、苦情窓口にご相談ください。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ばくの樹だよりを発行しています。お子様のご様子は、こちらをご覧ください。 また、行事予定は月間の行事予定表、土曜日ご利用の方は土曜活動のお知らせ、夏休み期間は夏休みの行事のお知らせをご確認ください。また行事の問い合わせも受け付けています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		今後も個人情報に留意していきます。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		配慮をしているつもりでも、足りない部分があると思います。何かお気づきの点がありましたら、お知らせください。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	事業所の規模が小さいため、地域住民を招待することは難しいと感じています。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		地震が発生した時の緊急時対応マニュアルは契約時に保護者に配布していますが、その他のマニュアルについては、契約時に他にも様々なマニュアルを作成していると口頭で一言話だけに留まっています。令和6年度より、ばくの樹の玄関に全てのマニュアルを入れたファイルを置きましたので、ご覧になりたい方は、面談時にお声掛けください。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		今年度は、火災、地震、水害、不審者対応の訓練を利用者と共に実施しました。7月、1月は災害協定を結んだ放課後等デイサービスげんき広場様と訓練を実施しました。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1回、虐待及び身体拘束の研修会を実施しています。今年度は2月に実施する予定です。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束は基本的にはしていませんが、緊急を要する時に行動制限をさせて頂く可能性がある方には、個別支援計画書に記載させていただきます。記載したとしても本人及び相手が大きな怪我や生命の危険があるときのみと考えています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師から直接ではありませんが、保護者様から聞き取った内容で対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎月1回、ヒヤリハット報告書の共有をパート職員も含めた会議内で実施しています。